

第2四半期決算説明会



株式会社 帝国電機製作所

平成24年11月20日

(東証1部・大証1部 6333)

<http://www.teikokudenki.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しにのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。



株式会社 帝国電機製作所

当社の現状と今後の展望

代表取締役社長 宮地國雄

平成25年3月期第2四半期累計の概況

百万円	平成23年9月 上期実績	平成24年9月 上期実績	伸率	平成24年9月 上期計画	計画比
売上高	8,908	9,135	2.6	9,204	-0.7
営業利益	1,201	1,021	-15.0	954	7.1
経常利益	1,046	947	-9.5	986	-4.0
四半期純利益	548	585	6.8	544	7.7
1株当り当期純利益	59円31銭	64円43銭	-	59円83銭	-

- 前年同期比、増収減益。
- 減速するマクロ経済を背景に、売上・経常利益は若干の未達となったが、営業利益・純利益では目標を超過する等全体にほぼ計画通りに推移している。

四半期推移

百万円	平成24年3月				平成25年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	4,313	4,594	4,239	4,616	4,423	4,711
営業利益	618	583	514	414	417	604
経常利益	620	426	535	547	351	596
四半期純利益	293	254	328	362	140	445
1株当り四半期純利益	31円42銭	27円85銭	35円87銭	39円60銭	15円41銭	49円02銭

- 平成25年3月期上半期は、前年度上半期にあった利益率の高い韓国向け案件等がない状況ではあったが、北米・中国を中心に海外売上が堅調に推移した。

事業別セグメントの状況

百万円	平成24年3月				平成25年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	4,313	4,594	4,239	4,616	4,423	4,711
ポンプ事業	3,781	3,907	3,538	3,786	3,724	4,018
電子部品事業	440	611	577	657	620	601
その他	91	75	123	172	77	91
営業利益	618	583	514	414	417	604
ポンプ事業	670	552	510	370	396	589
電子部品事業	-58	28	-5	37	20	7
その他	6	1	9	7	1	6

- ・ポンプ事業においては、国内の設備投資は依然として厳しく本格回復には至っていないが北米・中国等を中心に海外売上は堅調に推移している。
- ・電子部品事業においては、国内では震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果により、海外では北米や新興国での生産が拡大したことにより、その恩恵を受けて売上が堅調に推移している。

所在地別セグメントの状況

百万円	平成24年3月				平成25年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	4,313	4,594	4,239	4,616	4,423	4,711
日本	2,092	2,396	2,286	2,671	2,283	2,484
欧米	749	648	633	732	770	882
アジア	1,471	1,549	1,319	1,212	1,369	1,344
営業利益	618	583	514	414	417	604
日本	269	331	223	341	270	315
欧米	100	43	62	38	42	123
アジア	178	176	231	67	166	133

注)売上高は外部顧客に対する売上高。営業利益合計は連結調整後営業利益。

- **日本**
 - 主力のポンプ事業は、海外輸出増加による売上が堅調に推移。
 - 電子部品事業は、震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果により堅調に推移。
- **欧米**
 - 米国の石油化学業界向けを中心にケミカル機器モータポンプ、冷凍設備用アンモニアポンプ及び部品・修理といったメンテナンスの売上が好調。
- **アジア**
 - 中国市場で石油化学業界向けを中心にケミカル機器モータポンプや冷凍機・空調機器モータポンプ及び部品・修理といったメンテナンスの売上が好調。

受注・受注残の状況

百万円	平成23年9月上旬		平成24年9月上旬			
	受注高	受注残	受注高	増減率	受注残	増減率
ポンプ事業	9,236	5,836	7,547	-18.3%	5,917	1.4%
電子部品事業	1,183	201	1,244	5.2%	229	14.0%
その他	168	141	182	8.5%	217	53.5%
合計	10,587	6,179	8,974	-15.2%	6,364	3.0%

• ポンプ事業

- マクロ経済の減速をうけて国内外ともに厳しい受注環境下にある。
- 中国においては、欧州の財政危機再燃に伴う輸出の落ち込みによる景気減速等により、厳しい受注環境となっているが、ポリシリコン特需が剥落したとはいえ、ケミカル用ポンプも底堅く推移しており、車両用ポンプ、空調機向けポンプ及び部品・修理といったメンテナンスも堅調である。

• 電子部品事業

- 自動車用電装品は、国内では震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果により、海外では北米や新興国での生産が拡大したことにより受注・受注残とも堅調に推移している。

事業の動向

事業区分	主要製品など		今後の予想
ポンプ事業	ケミカル用	ケミカル機器用	
		LPG機器用	
		冷凍機・空調機器用	
	ケミカル以外用	半導体機器用	
		電力関連機器用	
		定量注入機器	
電子部品事業	自動車用電装品		
その他	特殊機器	電磁石	
		昇降機	
	健康食品		

今期業績見通し

【通期予想】

百万円 伸率%	24年3月期(実績)		25年3月期(予想)	
	金額	伸率	金額	伸率
売上高	17,765	9.3	19,188	8.0
営業利益	2,130	29.5	2,253	5.8
経常利益	2,130	39.9	2,304	8.2
当期純利益	1,239	60.1	1,513	22.1
1株当り当期純利益	134円74銭		166円43銭	

- ・前期比増収増益を見込む。
- ・マクロ経済の減速、長期的な円高など先行きには不透明感が強いが、海外を中心とした底堅い需要もあり、通期計画通りの業績を見込む。

上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

今後の成長戦略

海外事業の強化

- **北米(世界最大のケミカル産業があり、ケミカル用ポンプの最大マーケット)**

石油化学業界の設備投資回復に加え、太陽光発電、バイオ燃料、シェールガス、原子力発電等の石油代替市場や高速鉄道建設に期待。ただし、米国の景気回復基調の鈍化による影響が懸念される。

- メカニカルシールポンプ市場への侵攻
- 超大型キャンドモータポンプの受注
- 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でのマーケットシェア拡大
- 市場拡大のための代理店網の営業力強化及び直販体制の拡充
- TEXAS PROCESS EQUIPMENT社のキャンドモータポンプ修理サービス事業買収によるサービス体制の拡充

- **中国(近年、ケミカル産業が急成長している)**

ポリシリコン特需が剥落したとはいえ、ケミカル用ポンプや空調機向けポンプ等を中心に底堅い需要はあるものの、欧州の財政危機再燃に伴う輸出の落ち込みによる景気減速等が見られ、景気の先行きには不透明感が強まっており、今後の受注等の落ち込みが懸念される。

- 台湾市場及び中国市場での更なる収益基盤強化を目的とした組織再編(12年3月大連帝国による台湾帝国の子会社化)
- 超大型ポンプ市場への本格的参入を目的とした大型ポンプ工場建設(12年10月完成。設備を含む投資額200~250百万円)
- 新規市場・顧客の拡大を通じ、更なるシェア向上を図る。(10年電力関連機器モータポンプの現地生産・販売開始)
- 営業力強化・サービス体制の拡充。(09年2月設立の無錫サービス会社及び09年6月設立の済南サービス会社の隣接地への移転によるサービス体制強化、12年3月天津市、雲南省昆明市に営業所新設)
- 内部管理体制の拡充。(与信管理・キャッシュフロー重視・回収強化)

- **その他**

中東・インド等の市場をにらんでさらなる海外拠点をバーレーンに新設(12年12月予定)

中期的な経営戦略と目標

- **中期的な経営戦略**

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品造り」「地球環境に優しい製品造り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開

- **経営目標**

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靱な経営体質を目指す
 - 海外売上高比率55%以上(当第2四半期連結累計期間 58.1%)
 - 売上高経常利益率12%以上(当第2四半期連結累計期間 10.4%)

配当金の推移

	1株当たり中間配当	1株当たり期末配当	1株当たり年間配当
平成22年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成23年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成24年3月期	10円00銭	12円00銭	22円00銭
平成25年3月期	12円00銭	12円00銭 (予定)	24円00銭 (予定)



株式会社 帝国電機製作所

決算説明

取締役総務本部長

尾上喜一郎

会社概要

プロフィール

商号	株式会社 帝国電機製作所	昭和 14 年 9 月	鉄道保安装置一式製作販売及び一般電気機械製作販売を主たる目的として、大阪市北区曽根崎新地に株式会社帝国電機製作所を設立
本社所在地	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野 60	昭和 19 年 2 月	業務の拡張と戦時疎開のために兵庫県揖保郡新宮町に新宮工場を竣工
敷地面積	42,286 m ²	昭和 35 年 4 月 平成 3 年 11 月	自社製品キャンドモータポンプ初号機完成 米国デラウェア州トバー市に子会社 TEIKOKU USA INC. を設立
設立年月	昭和 14 年 9 月	平成 6 年 12 月	中国遼寧省大連市に大連キャンドモータポンプ廠との合弁会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立
資本金	2,116,823 千円(平成 24 年 9 月末)	平成 11 年 1 月 平成 11 年 3 月	台湾台北市に子会社台湾帝国ポンプ有限公司を設立 シンガポールに子会社 TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. を設立
発行済株式数	9,450 千株	平成 11 年 5 月	大阪証券取引所市場第二部に上場
業種	電気機械器具の製造販売	平成 13 年 11 月 平成 14 年 8 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を完全子会社化 ドイツ デュセルドルフ市に TEIKOKU ELECTRIC GmbH を設立
決算期	3 月 31 日(年 1 回)	平成 15 年 2 月	子会社 TEIKOKU USA INC. がアメリカのケミポンプ事業部(キャンドモータポンプ発祥会社)買収
従業員数	1,268 人(連結)、337 人(単体) (平成 24 年 9 月末)	平成 17 年 2 月	東京証券取引所市場第二部に上場
事業所数	2 工場、5 営業所、3 出張所	平成 17 年 10 月 平成 18 年 9 月 平成 19 年 2 月	子会社 TEIKOKU KOREA CO., LTD を設立 東京証券取引所市場第一部に上場 大阪証券取引所市場第一部に上場
連結	子会社 13 社 (国内 5、海外 8)	平成 20 年 10 月 10 月 平成 21 年 2 月	帝国電機技術開発センター及び上月電装新工場竣工 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司工場増設 江蘇省無錫市に無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
社是		平成 21 年 6 月	山東省済南市に済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
みんなで良くなる		平成 22 年 4 月	平福電機新工場竣工
誠実に事に当たろう		平成 22 年 5 月	TEIKOKU USA INC. が TEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANY 社のキャンドモータポンプ修理サービス事業を取得
積極的にやろう		平成 24 年 3 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が台湾帝国ポンプ有限公司を子会社化(当社の孫会社化)

損益計算書の概要

	平成24年9月 上期実績	前年同期比 %
単位 百万円		
売上高	9,135	2.6
売上原価	5,774	7.4
売上総利益	3,360	▲4.9
販売費・一般管理費	2,339	0.3
営業利益	1,021	▲15.0
営業外損益	▲74	
経常利益	947	▲9.5
特別損益	▲3	
税引前利益	943	▲5.3
法人税等	357	
当期純利益	585	6.8

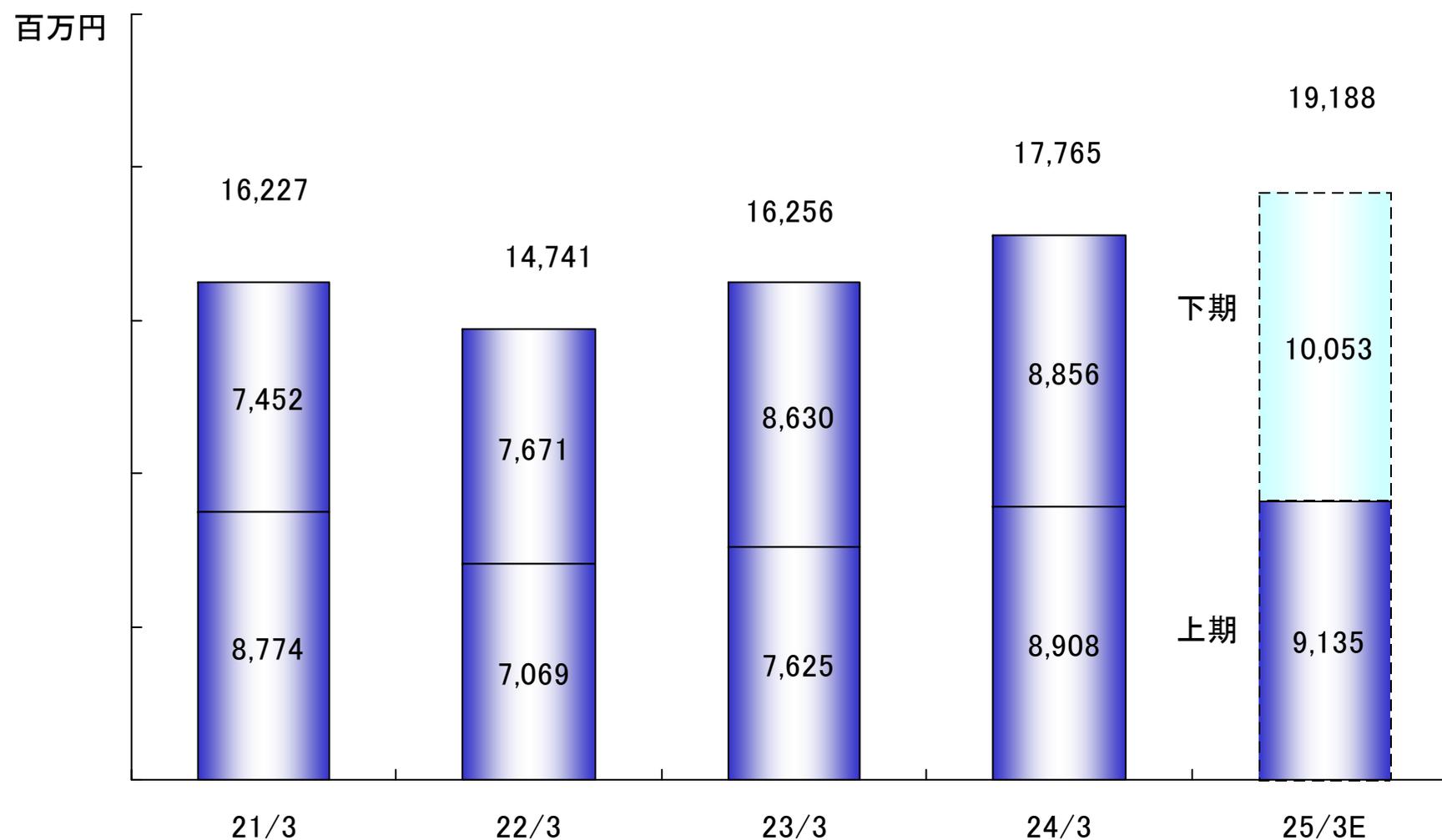
[評価為替: 1US\$=79.28円、1元=12.52円、1EUR=98.68円、1TW\$=2.65円、1KRW=0.07円]

今期予想

単位 百万円	通期	前期比 増減%
売上高	19,188	+8.0
売上原価	12,067	+9.0
売上総利益	7,121	+6.4
販売費・一般管理費	4,867	+6.7
営業利益	2,253	+5.8
経常利益	2,304	+8.2
当期純利益	1,513	+22.1

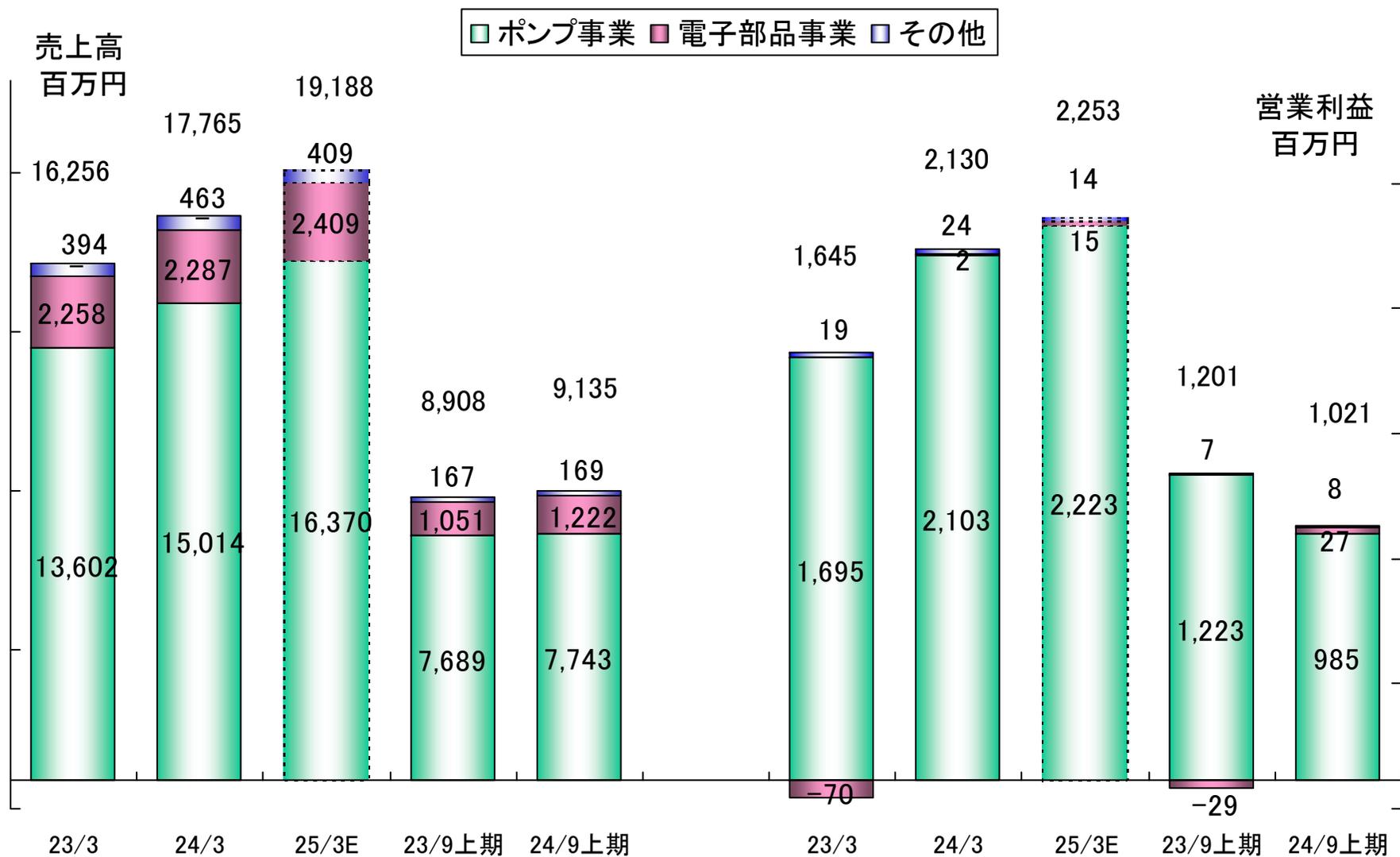
[計画為替レート: 1US\$=80.0円、1元=13.0円、1EUR=105.0円、1TW\$=3.0円、1KRW=0.07円]

売上高の推移

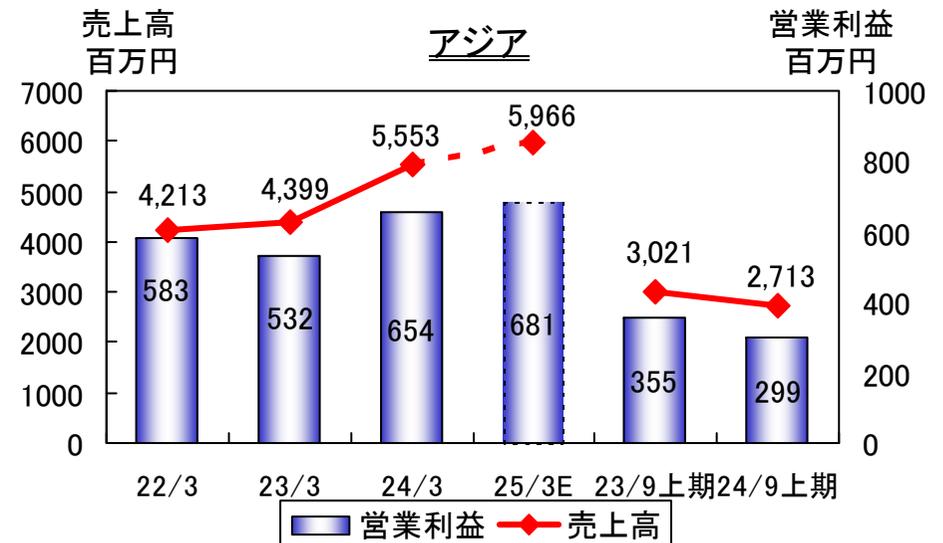
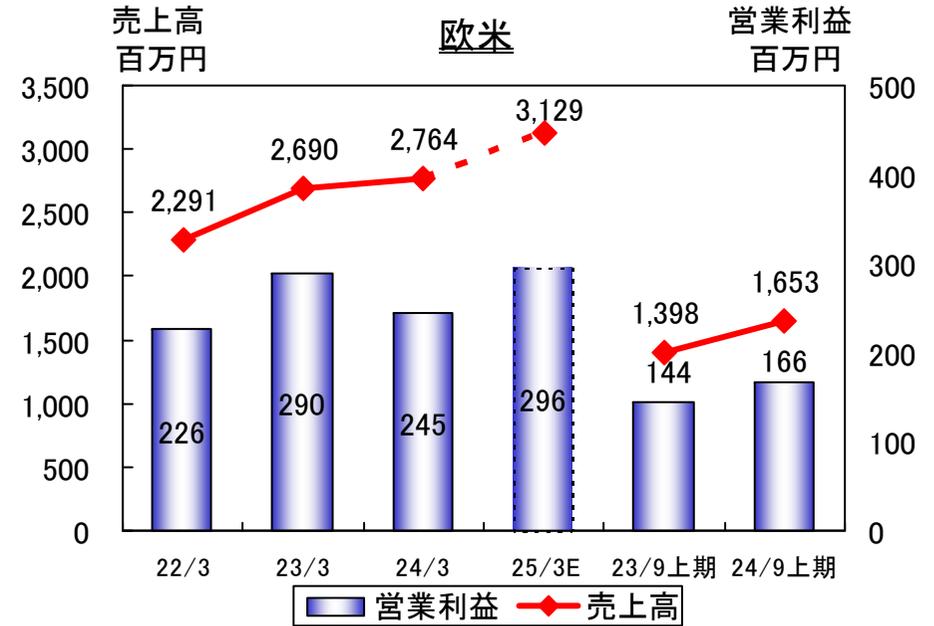
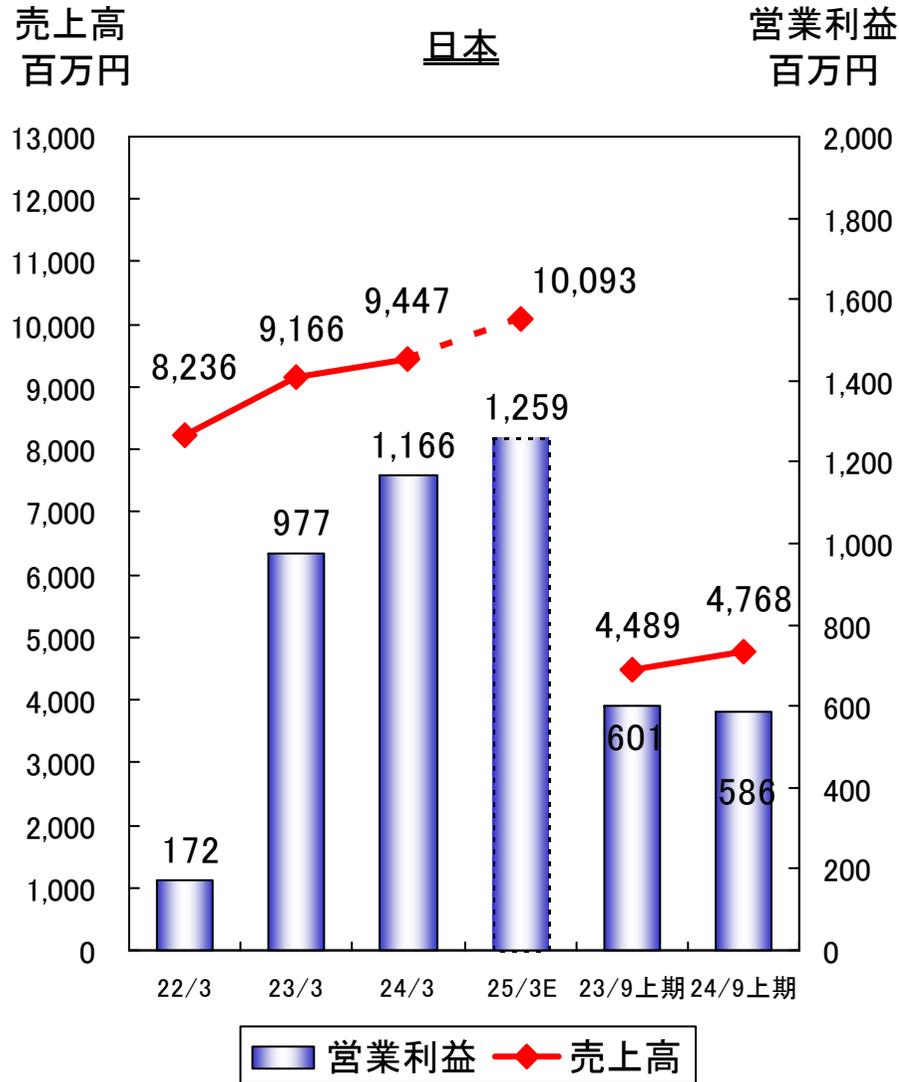


注) 予想数字は注意事項ですので、取り扱いには十分ご注意ください

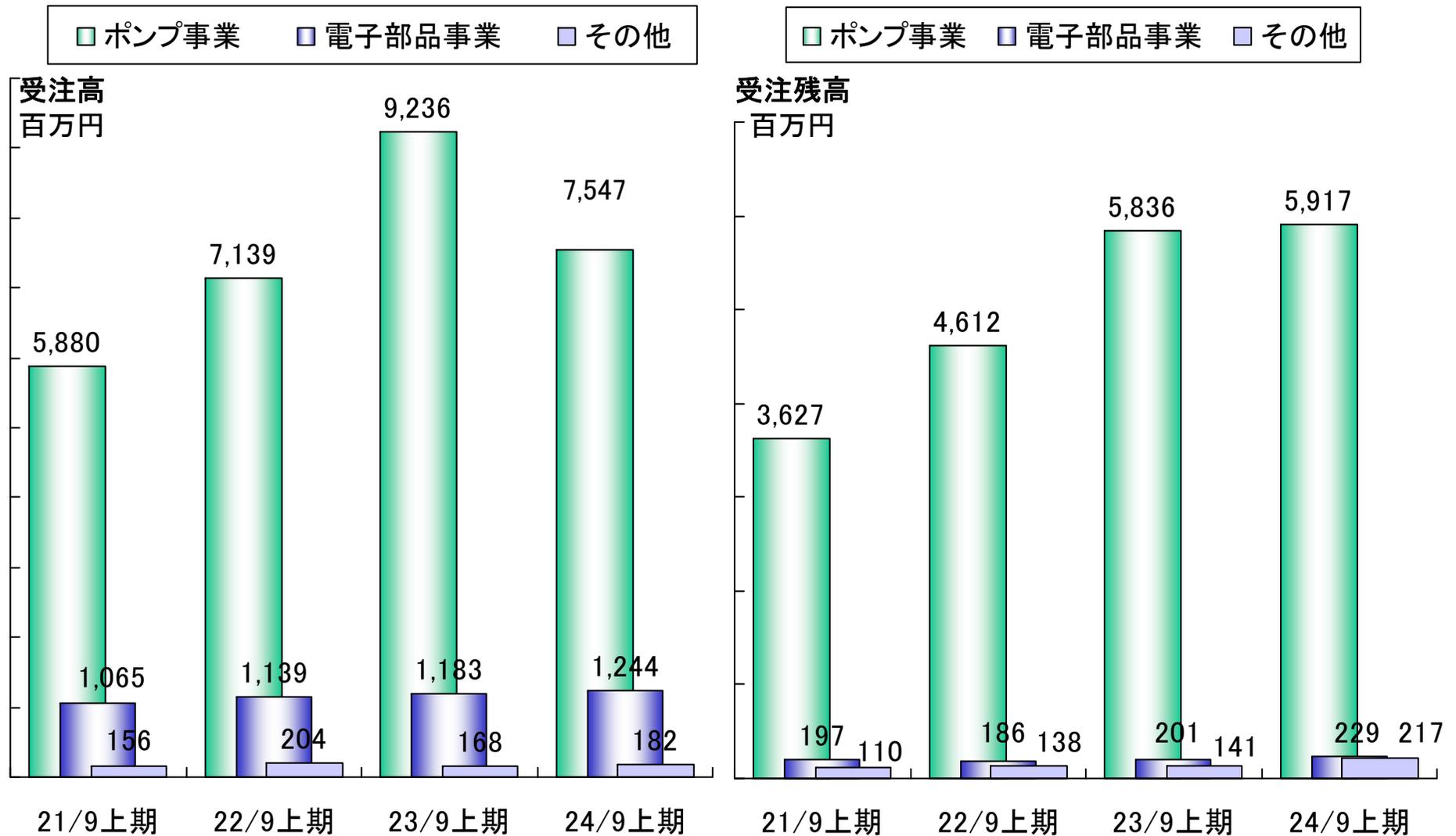
事業の種類別セグメント



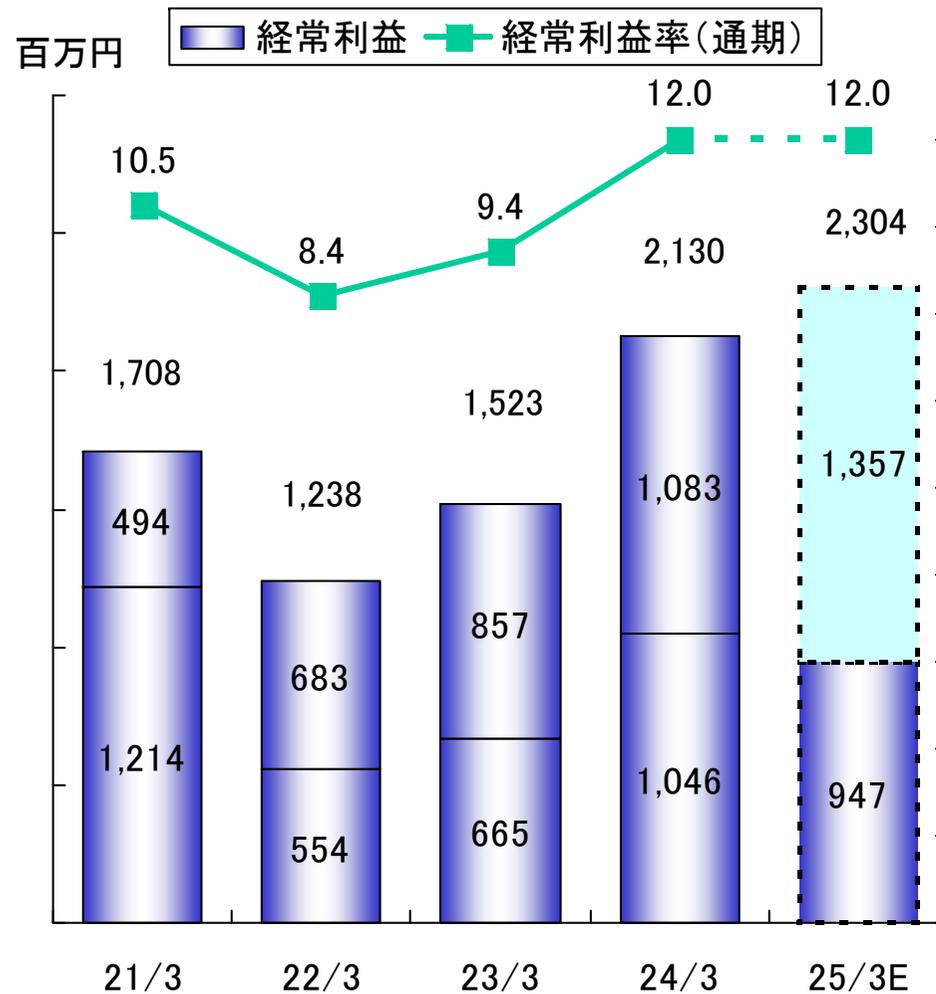
所在地別セグメント



事業の種類別受注と受注残高



経常利益



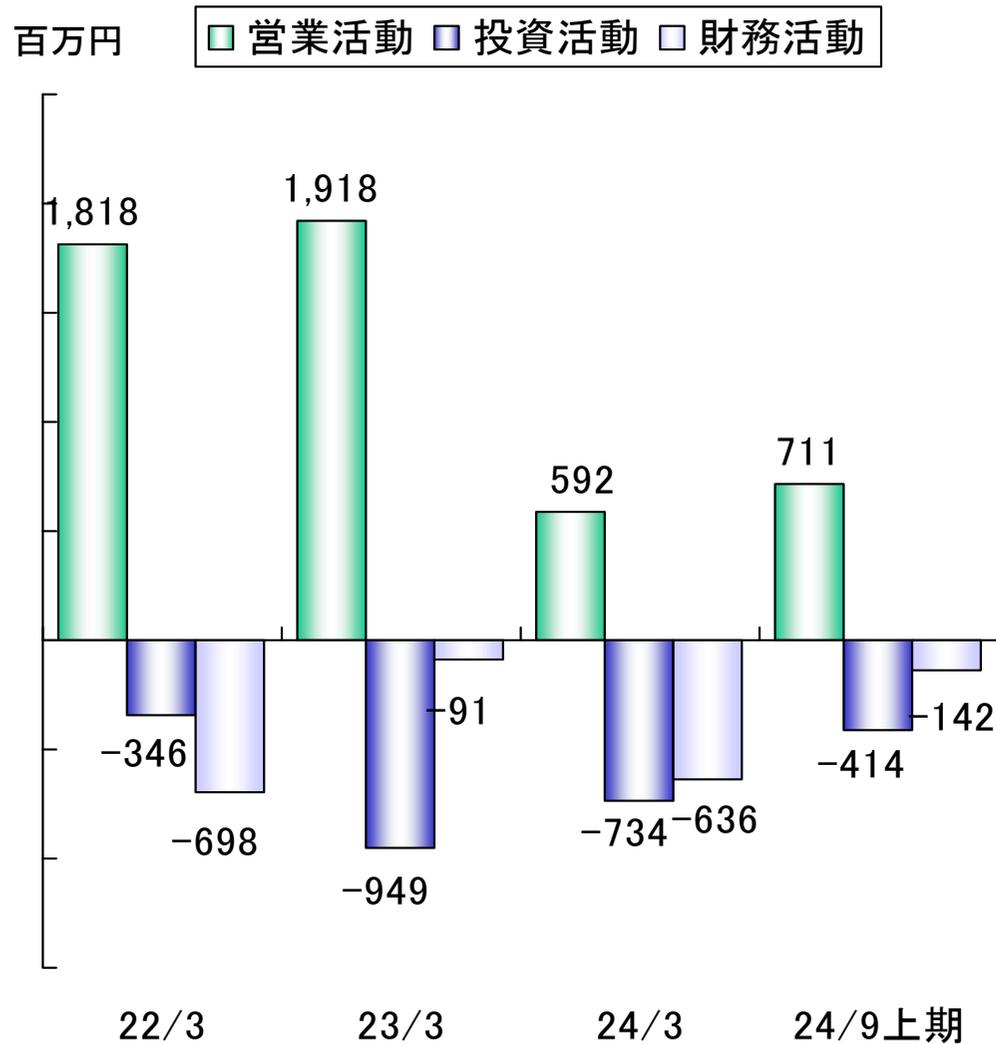
増減要因(前年同期比)

経常利益	▲99百万円
販管費 (うち人件費)	+6百万円 ▲35百万円)
営業外収益	▲4百万円
営業外費用	▲84百万円
親会社	+184百万円
国内子会社	▲39百万円
海外子会社	▲0.6百万円

連結貸借対照表の概要

単位 百万円	連結	前期末 増減		連結	前期末 増減
流動資産	13,548	681	流動負債	4,891	43
現預金	3,025	310	支払手形・買掛金	2,024	▲15
受取手形・売掛金	6,232	310	短期借入金	646	5
製品	1,073	110	その他	2,219	53
仕掛品	1,943	▲4			
原材料及び貯蔵品	895	21	固定負債	1,597	137
その他	376	▲68	その他	1,597	137
固定資産	7,244	▲21			
有形固定資産	5,607	78	純資産	14,304	479
無形固定資産	496	▲12	株主資本	14,637	476
投資その他の資産	1,140	▲87	その他の包括利益累計額	▲333	2
資産合計	20,792	659	負債純資産合計	20,792	659

キャッシュフローと設備投資



設備投資

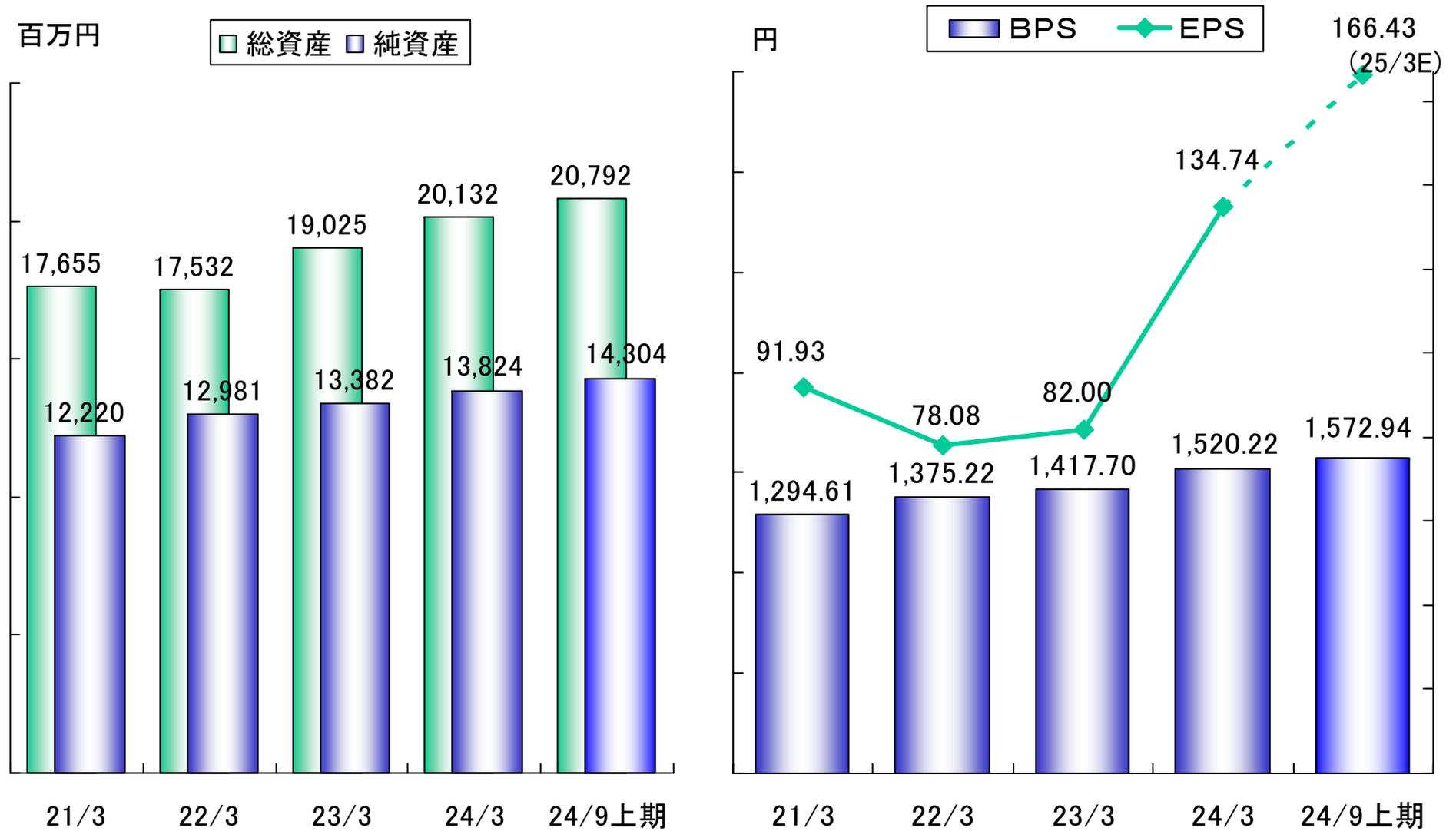
実績(当上期)

親会社	39百万円
子会社	134百万円
合計	174百万円

計画(通期)

親会社	420百万円
子会社	259百万円
合計	680百万円

総資産、純資産、BPS、EPS



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所